

地域の実情と課題

- ・村山地域では、「夫が働き妻は家庭を守るのがいい」と答えた割合が最も多く、アンコンシャスバイアスの解消が求められることから、総合支庁が主体となって啓発活動を強化していく必要がある。
- ・最上地域では、男女共同参画の意識醸成が不十分で女性の社会活動への参画率が低いため、女性の活躍やワーク・ライフ・バランス推進のための取組みが必要。
- ・置賜地域は他の地域に比べ、女性の生き方に関する情報提供を求める声が多いため、健康やライフプランの重要性を伝えるセミナー等の実施が必要。
- ・庄内地域は、家庭生活、仕事、地域活動のバランスが取れていると思う者の割合が29.7%と低く、ワーク・ライフ・バランスの実践が課題。今後は、企業や女性の、女性活躍やワーク・ライフ・バランスに関する意識改革が必要。

事業の特徴

各地域において各々の課題を把握し、課題解消に向けた事業を実施した。

事業の効果

- ・啓発パネルの貸出先より「職場や家庭でのアンコンシャス・バイアスに気付くことができた」等、意識改革につながったとの声があった。
- ・参加者からは「すべての格差がなくなり、誰でも平等、なんの障害も感じない社会になる着実な一歩だと思った」等の声が聞かれ、意識の向上や醸成につなげることができた。

目的・目標

【村山地域】

《目標》パネル展示企業数2社

《実績》企業1社、高等学校1校

【最上地域】

《目標》参加者数20名 《実績》参加者数33名

【置賜地域】

《目標》参加者数20名 満足度80%以上

《実績》参加者数20名 満足度100%

【庄内地域】

《目標》満足度80%以上

《実績》参加者数50名 満足度100%

連携団体

- ・域内市町村等

今後の課題

- ・さらに多くの企業等に展示してもらえるよう継続して働きかけを行う必要がある。
- ・継続して研修会等を開催することで、更なる意識啓発を図っていく必要がある。
- ・置賜地域はほかの地域に比べ、女性の生き方に関する情報提供を求める声が多いため、今後も情報発信が必要。
- ・引き続き、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進していくことが必要。

事業の概要

事業概要

- 男性の育休取得や家事育児参加に係る啓発ポスターを作成し、実際に企業を訪問して、男性育休取得への理解を促すとともに、パネル掲示を提案して、掲示を行う。

開催実績

男性育休・アンコンシャスバイアスに係るパネルの作成(計3枚)・企業訪問・掲示

■掲示場所

《企業》スズキハイテック(株)

《学校》山形県立山形工業高等学校

■内容

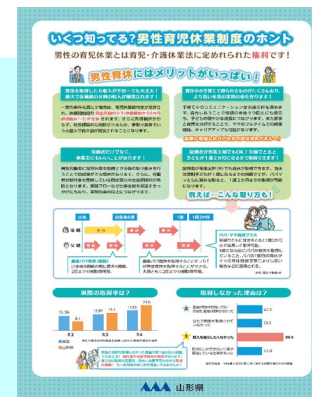
企業を訪問し、男性育休取得の状況やアンコンシャスバイアスの認知度について聞き取り。啓発パネルの掲示

事業目標

(目標)2企業に貸出⇒(事業実績)1企業、1高等学校

企業等の声

- 男性育休について、30代～40代の従業員は、育休制度を知りながらも休みを悪いことだと考えている人が多い印象。
- アンコンシャスバイアスについては、言葉すら知らない人がまだまだ多い。今後勉強したいと思っていたが何を基にすればよいかわからなかった。このようなパネル掲示の話をいただけて良かった。
- 企業でも女性マネージャーは増えてきている。今後もパネルを活用しながら周知を行い、女性が活躍できる環境づくりを推進していきたいと思っている。



事業の概要

事業概要

「性別」に関する「アンコンシャス・バイアス」について理解を深めるため、子育て支援者等を対象にしたセミナーを開催し職場や家庭、地域の中でより良いコミュニケーションや自身の可能性を広げるきっかけづくりの機会とする。

開催実績

「アンコンシャス・バイアスセミナー」 R5.12.13(水)

■対象：子育て支援関係者等

《講師》 伊藤 眞知子 氏

(山形県男女共同参画センター「チェリア」館長)

《演題》 アンコンシャス・バイアスセミナー

～日々の子育ての中の無意識の思い込みに気づく～

事業目標・KPI

(目標) 参加者数:20人 ⇒ (事業実績) 33人

アンケート結果・参加者からの声

○アンコンシャス・バイアスが自分にはたくさんあることがわかり、それが誰かを傷つける可能性があることを初めて意識した。○子育て分野のアンコンシャス・バイアスは根が深いと感じた。子どもを取りまく環境をより深く考えていきたい。○職場や家庭、地域での生活の中で無意識の思い込み、決めつけによる考え方が多い事に気づいた。人に対して押し付けや決めつけがないように意識を変えた見方をしていきたい。

参加無料

アンコンシャス・バイアスセミナー

～日々の子育ての中の無意識の思い込みに気づく～

- 私たちの中には、性別による役割に誰や自分でも気づいていない思い込み(アンコンシャス・バイアス)が残っています。これらがあなたの様々な選択に影響を与えているかもしれません。
- このセミナーを通して、無意識の思い込みに気づき、よりよいコミュニケーションにつなぐ。これを知ること、あなた自身そしてあなたが日々変わる子どもたちが自分らしく成長できるように役立ててください。

▼講師プロフィール



いとう まちこ
伊藤 眞知子氏

山形県男女共同参画センター「チェリア」館長

東北公営文科大名誉教授。国立女性教育会館事業研究員を歴任。2001年東北公益文科大学学長ととも在任。2021年4月から現職。山形県民共済連合会会長、西宮市民共済連合会副会長、山形市市民共済連合会会長など。2016年度男女共同参画社会づくり功労賞の内閣府長官表彰受賞。近著、「地方の女性主権を握るモヤモヤ」（『We learn vol.82（公財）ナタ女子学財団』）など。

▼日時・会場

▼对象

- 令和5年 **12月13** 日(水)
10:30～12:00
- 新庄市民プラザ3階
新庄・6研修室
(新庄・大手町1番60号)
- 子育て支援関係者(定員40名程度)
保育士、放課後など教室関係者
放課後児童クラブ関係者 など
- 子育て、孫育て中の方
- 子育て支援に関心のある方など
となでなで参加していただければ幸いです。

▼申込方法

- 申込専用フォーム(右記二次元コード)
- 裏面参加申込書をFAX

● お問い合わせ

最上総合支庁子ども家庭支援課

TEL:0233-29-1245 FAX:0233-23-7635

申込締切
11/30(木)

事業の概要

事業概要

幅広い年代の女性を対象に、心身の健康やライフプランについて具体的に学ぶセミナーの開催

開催実績

女性向けライフデザインセミナー R5.10.28(土)

■対象: 県内在住の女性

■講師: MOTHER design 代表 わだ ゆきこ氏(第1部)

ヨガインストラクター 引地 玲菜氏(第2部)

●内容 ~私らしい生き方のレシピ~ 今、ここから幸せに生きる方法

第1部: 講演

第2部: ヨガ体験

事業目標

(目標①) 参加者数: 20人 ⇒ (事業実績) 20人

(目標②) 参加者アンケートによる満足度: 80%以上 ⇒ (事業実績) 100%

アンケート結果・参加者からの声

- ・自分がどうありたいか普段考えずに流されて生活していることに気付けた。
- ・自分に優しくなることが家族や周りの方にもプラスになりそう。
- ・改めて人生を後悔なく生きていきたいと思った。
- ・頭も心も身体もリフレッシュできた。

女性向けライフデザインセミナー

~私らしい生き方のレシピ~

今、ここから幸せに生きる方法

日常から少し離れて、講話とヨガを通して自分の人生(ライフ)をデザインする
きっかけをつくってみませんか? ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

▶日時: 10月28日(土) 10:30~12:15
▶開催方法: Zoomとリアルなハイブリッド開催
リアル参加会場: 伝国の社(米沢市丸の内1丁目2番1号)
2階大会議室

▶対象: 県内にお住まいの女性
✓40代・50代の方大歓迎 ✓ゆっくり自分の人生を考えてみたい方
▶定員: 会場参加20名 Zoom参加30名

参加無料

講話60分+ヨガ60分(休憩15分)

講師 MOTHER design 代表 わだ ゆきこさん
107年生まれ山形県山形市在住。
山形県内各地で10年以上活動し、子育て支援等に携わる。
MOTHER design マザーデザイン 代表
山形県内各地で「子育て支援」活動。
山形県子育て支援センター講師
資格: 管理栄養士 公認心理師
山形県子育て支援センター

講師 インストラクター 引地 玲菜さん
山形県山形市在住。子育て支援活動に携わる。
山形県子育て支援センター講師
資格: RYT200 全米ヨガアライアンス
山形県子育て支援センター
山形県子育て支援センター

▶お申込み・お問い合わせ
○やまがたe申請(右記QRコード) ○裏面FAX申込用紙
※どちらからの方法でお申込みください
【お問合せ】山形県総合支庁子ども家庭支援課
TEL 0238-26-6027 FAX 0238-24-2016
E-MAIL yokitamakodomo@pref.yamagata.jp

申し込みQRコード

●申込締切10月20日(金)

主催: 山形県山形総合支庁保健福祉環境部 子ども家庭支援課

事業の概要

事業概要

庄内地域において多様な働き方を推進している企業や「自分らしい働き方」を実践している女性による事例発表などのセミナーを開催するとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進を実践している企業を紹介するパンフレットを作成・配布し、企業の取組拡大や女性の意識改革につなげる。

事業実績

①庄内で多様な働き方推進セミナーの開催（令和6年2月21日 オンライン開催）

- 講演「女性も男性も多様な働き方と暮らしを」 山形県男女共同参画センター「チェリア」館長 伊藤 氏
- 事例発表「私の働き方」（株）プレステージ・ヒューマンソリューション、鶴岡信用金庫、（有）菅原物流
- パネルディスカッション「『自分らしい働き方』って？」（パネリスト：講師と事例発表者）

②パンフレット「ワーク・ライフ・バランス実践企業の紹介」の作成・配付

ワーク・ライフ・バランスの推進を実践している企業（株式会社プレステージ・ヒューマンソリューション、鶴岡信用金庫、有限会社菅原物流）の取組みや従業員の声を紹介。県内関係機関の他、庄内管内の市町、企業、団体、児童施設、医療機関に配布。

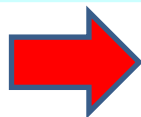


事業目標

セミナー参加者満足度 目標値 80% ⇒ 実績値 100%（大変良かった69%、良かった31%）

参加者の声

- ・無意識のうちに自身を過小評価してしまうので、講師の「自分へのバイアスを解く」に感銘を受けた。
- ・会社や家族と協力しながら、目標を持って働いている姿に、同じ子育て中の身として励まされた。



企業でのワーク・ライフ・バランスの実践や
女性が自己実現できる働き方の意識醸成につなげていく